

# ひなまつりの思い出

はるかぜ介護福祉ステーション

3月3日はひなまつり。訪問先で、きれいなお雛様が飾ってあると、つい懐かしい思い出話に花が咲きます。今回は3名の利用者さんにひなまつりのエピソードを伺いました。(はるかぜ介護福祉ステーション 大迫)



清原員友さんと  
奥様の和子さん



私達の娘のために38年前母より雛人形を貰い受けました。年ごとに出し入れが大変になってきましたが、いろいろなことを思い出しながら大切に飾っています。

お雛様を見るたびに、娘や孫たちが立派に成長してくれていることに感謝の気持ちが込み上げてきます。また、訪れた方々の「お雛様を見て優しい気持ちになって癒されます」といった話を聞くと嬉しくて、これからも元気な限り飾っていこうと思います。



合志正子さん

娘が3人いますので、お雛祭りは毎年かさずお祝いしていました。最初の娘が生まれたときは、主人がとても喜んで、飾りの凝った木目込み人形のお雛様を一緒に選んだことを思い出します。おかげさまで、3人ともすくすく育ち、私をとっても大切にしてくれています。思い出のお雛様は私が今も大切に管理しています。



白根トキエさん

娘が生まれたのは、私の夫が二度目の召集で戦地に赴いた直後の事でした。食べるものにも苦労していた時代で、お雛様を買ってあげようにもお店もありませんでした。毎日を生きることに必死だった時代です。

戦争が終わってもまだまだ余裕はありませんでしたが、雛祭りの日はささやかながらお赤飯を炊いて、夫婦で娘の成長を祈ったものです。

## KUMAMOTO CASTLE MARATHON

2月18日に行われた熊本城マラソン。今年3名の職員が参加しました。

今回、熊本城マラソンで初フルマラソンに挑戦しました。沿道の皆さんの応援や、ボランティアスタッフの方々の給水給食などのサポートのおかげで無事に完走することができました。ありがとうございました。楽しんで走ることができたので、次回もぜひ参加したいと思います。次は4時間30分を切るぞー！

(参加者代表 外来診療部 松井)



西 松井 泉